

外郭団体評価調書【公益・一般法人用】

1. 基本情報

平成26年7月1日現在

団体名	公益財団法人 會津八一記念館		
所在地	新潟市中央区西船見町5932番地561		
代表者(職・氏名) (所属・職)	理事長 小田 敏三	電話番号	025-282-7612
		ホームページ	http://aizuyaichi.or.jp/
市所管課	文化政策課	電子メール	
基本財産 (基本金)	201,577 千円	設立年月日	昭和47年 5月 8日 (平成22年12月22日公益財団法人へ移行)
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	100,000 千円	49.6 %
	株式会社新潟日報社	2,400 千円	1.2 %
	株式会社新潟放送	2,400 千円	1.2 %
	株式会社本間組	2,400 千円	1.2 %
	株式会社福田組	2,400 千円	1.2 %
	その他	91,977 千円	45.6 %
設立目的	會津八一の遺墨・遺品・著書をはじめ會津八一に関する資料を調査研究し、文学・芸術など学芸に残した業績を伝え、広く後学の研究と鑑賞に供し、教育・学術の交流に資すること。		
経営理念 経営方針	會津八一に関する調査研究、諸展覧の開催、諸種講演会、研究会の開催および印刷物の刊行、記念館の管理、その他法人の目的を達成するために必要な事業を遂行する。		

2. 主要事業

事業名 ①			事業概要				
會津八一記念館管理運営事業			會津八一の業績を顕彰するとともに、市民文化の向上に資することを目的に、會津八一の作品、遺品等を収集し、保管し、及び展示(業務仕様書より)する。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
公益事業	受託事業	支出額	千円	32,132	34,678	35,560	43,265
活動指標・成果目標			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
年間入館者数	計画	人		7,900	7,900	7,900	8,000
	実績			7,560	15,545	5,952	
年間入館料	計画	千円			2,800	2,800	3,000
	実績			2,671	交換展3,427・常設展1610	1,768	

事業名 ②			事業概要				
特別展自主事業			平成18年、21年の2回、県内の商店や寺社、公共施設の所蔵する會津八一作品を集めた「街の中の會津八一」展は好評だった。この伝で、第3弾「街の中の會津八一～東日本編」として、東京の骨董商や寺社、長野の温泉旅館、山形の博物館などが所蔵する八一書作品など71点を紹介した。様々な先へ送った書作品は初めて見る作品が多いため来館者からは好評だった。しかし、市民にとっては縁遠い店、寺社だったことから関心が高まらず、加えて日報・BSNを含めた実行委員会方式に比べPR不足になり、入館者は振るわなかった。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	5,279	3,854	3,174	4,900
活動指標・成果目標			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
入館者数	計画	人		3,000	3,000	3,000	3,000
	実績			3,961	10,973	1,266	

事業名 ③			事業概要				
文芸講演会事業			当館主催の文芸講演会は4回。5月は歌人馬場あき子による「會津八一の歌」、8月の八一祭記念では唐招提寺・石田太一執事による「鑑真和上の心と會津八一」、特別展記念では10月に東京芸大・古田亮准教授による「新宿中村屋サロンと會津八一」、11月には繭山龍泉洞の川島公之専務による「會津八一と鑑賞陶器の時代」をそれぞれ実施。館長講座は「やきもの」をテーマに3回、出前講演は館長が7回、学芸員が15回だった。箏曲家宮城道雄生誕120周年事業では宮城記念館と共催の講演会で喜嶋学芸員が講師を務めた。館長や学芸員への講演師要請がますます増加している。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	580	564	500	530
活動指標・成果目標			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
開催数	計画	契約		10	10	10	5
	実績			11	10	7	
聴講者数	計画	契約		1,520	1,500	1,500	1,500
	実績			1,438	2,036	873	

事業名 ④			事業概要				
販売事業			會津八一の「学規」割引セールは本年度も実施。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
収益事業	自主事業	支出額	千円	3,409	2,732	1,464	1,500
活動指標・成果目標			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
年間販売額	計画	千円		3,200	4,000	4,000	3,000
	実績			4,968	3,415	2,702	

事業名 ⑤			事業概要				
普及活動事業			會津八一の学芸業績を普及する一環として「會津八一の歌を映す」写真コンテストを開催し、短歌と映像とを融合する新しい芸術分野を開拓。第7回の25年度は、県内外から76人117点の応募があった。入賞作品は当館で展示後、本年度は4月早稲田大学、5月奈良県立図書情報館、6月奈良・斑鳩町、7月愛知県春日井市の小野道風記念館、8～9月京都・承天閣美術館、10月胎内市で開催するなど、開催地が少しずつ増加している。出前講演会・講座への要請はさらに増加している。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	2,321	2,399	2,700	2,500
活動指標・成果目標			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
「八一の歌を映す」写真コンテスト応募点数		計画	点	90	100	100	100
		実績		115	115	117	
館長・学芸員の出前講演会、講座回数		計画	回		5	10	10
		実績		9	20	25	

3. 組織等の状況

(1) 役職員数の状況

(単位：人)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
役員数	10	10	10	11
常勤	1	1	1	1
市派遣				
市職員OB				
プロパー役員	1	1	1	1
他団体からの派遣				
非常勤	9	9	9	10
市兼任	3	3	3	3
市職員OB				
他団体兼任	6	6	6	7
その他				
職員数	5	5	5	5
常勤	3	3	3	3
市派遣				
市職員OB				
プロパー職員	3	3	3	3
他団体からの派遣				
非常勤	2	2	2	2
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	2	2	2	2
見直し等の取組み				

(2) 職員の状況（市派遣職員を除く。）

(単位：人)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
職員の状況	管理職	2	2	2	2
	一般職	3	3	3	3
	合計	5	5	5	5
年齢構成	20代以下	0			
	30代	2	2	2	2
	40代	0			
	50代	1	1	1	1
	60代以上	2	2	2	2
	合計	5	5	5	5

(3) 役員報酬・職員給与等の状況

(決算 単位：千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度予算
報酬・給与等	17,907	19,584	19,705	20,595
内 市職員分	0	0	0	0
役員	0	0	0	0
常勤				
内 市職員分				
非常勤				
内 市職員分				
職員	17,907	19,584	19,705	20,595
常勤	11,708	12,384	12,505	13,395
内 市職員分				
非常勤	6,199	7,200	7,200	7,200
内 市職員分				
平均年収（市職員を除く。）				
常勤役員				
常勤職員	3,903	4,128	4,168	4,074
見直し等の取り組み				

(4) 給与等の適正化の状況（市派遣職員を除く。）

現在の給与体系		今後の見直し予定	
	団体独自の給与体系		有 予定時期 年度～
●	市の給与体系を準用	●	無
	その他〔 〕		その他〔 〕

4. 財務の状況

(1) 正味財産増減計算書

(決算 単位：千円)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度
一般正味財産増減の部	経常収益	44,805	45,670	44,920
	基本財産運用益	3,334	3,327	3,190
	特定資産運用益			3
	受取会費			
	事業収益	38,408	39,481	38,805
	自主事業収益	7,806	6,455	4,939
	受託事業収益	30,602	33,026	33,866
	受取補助金等・負担金			
	その他経常収益	3,063	2,862	2,922
	経常費用	47,569	46,454	45,144
	事業費	42,862	43,756	42,794
	公益目的事業費	32,942	33,965	34,671
	収益目的事業費	5,610	5,089	3,357
	(自主事業費)			
	(受託事業費)			
	法人会計	4,310	4,702	4,766
	管理費	4,707	2,698	2,350
	評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 2,764	▲ 784	▲ 224
	評価損益等	0	0	0
	基本財産評価損益等			
	特定資産評価損益等			
投資有価証券評価損益等				
当期経常増減額	▲ 2,764	▲ 784	▲ 224	
経常外収益		8,308	0	
経常外費用	70	1,641	70	
当期経常外増減額	▲ 70	6,667	▲ 70	
当期一般正味財産増減額	▲ 2,834	5,883	▲ 294	
一般正味財産期首残高	34,997	32,163	38,046	
一般正味財産期末残高	32,163	38,046	37,752	
指定正味財産増減の部	受取補助金等・負担金	0	0	0
	その他	3,352	3,333	▲ 146,915
	基本財産評価損益			
	特定財産評価損益			
	一般正味財産への振替額	▲ 3,334	▲ 73	146,915
	当期指定正味財産増減額	18	3,260	0
	指定正味財産期首残高	198,446	198,465	201,724
指定正味財産期末残高	198,464	201,725	201,724	
基金増減の部	基金受入額			
	基金返還額			
	当期基金増減額	0	0	0
	基金期首残高			
基金期末残高	0	0	0	
正味財産期末残高	230,627	239,771	239,476	

(参考)

(決算 単位：千円)

(別掲) 人件費	17,907	19,584	19,705
役員分			
職員分	17,907	19,584	19,705

(2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度
資産の部	資産の部合計	236,150	246,902	247,519
	流動資産	13,552	14,550	14,749
	現金預金	6,169	6,176	6,003
	未収金	27	109	53
	有価証券			
	その他流動資産	7,356	8,265	8,693
	固定資産	222,598	232,352	232,770
	基本財産	198,464	201,724	201,577
	特定資産	20,915	26,258	26,584
	その他固定資産	3,219	4,370	4,609
	有形固定資産	2,836	4,340	4,579
	無形固定資産	353	30	30
	その他投資等	30		
負債の部	負債の部合計	5,523	7,131	8,043
	流動負債	1,559	2,578	2,868
	短期借入金			
	その他流動負債	1,559	2,578	2,868
	固定負債	3,964	4,553	5,175
	長期借入金			
その他固定負債	3,964	4,553	5,175	
正味財産の部	正味財産の部合計	230,628	239,771	239,476
	基金	0	0	0
	(基本財産充当額)			
	(特定資産充当額)			
	指定正味財産	198,465	201,725	201,724
	うち補助金	198,465	201,725	201,724
	(基本財産充当額)			
	(特定資産充当額)			
	一般正味財産	32,163	38,046	37,752
	代替基金			
	その他一般正味財産	32,163	38,046	37,752
(基本財産充当額)				
(特定資産充当額)	20,915	26,257		
負債の部及び正味財産の部合計	236,151	246,902	247,519	

(3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
市財政支出等の合計	32,212	34,758	35,640
補助金		0	0
事業費補助金			
運営費補助金			
設備投資に係る補助金			
負担金	80	80	80
交付金			
委託料	32,132	34,678	35,560
内 随意契約額※	32,132	34,678	35,560
貸付金(期中借入額)			
出資・出捐金(追加額)			
その他			
貸付金残高			
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
債務保証に係る債務残高			
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免, 建物の無償貸与等)			

※ 随意契約額とは、市との一者随意契約による委託料及び非公募による指定管理者料をいう。

(市財政支出等がある場合) 目的, 内容, 必要性, 増減理由等

--

(4) 遊休財産の状況

(単位：千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
純資産	230,628	239,771	239,476
公益目的保有財産	▲	▲	▲
公益目的事業を行う為に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産	▲	▲	▲
特定の財産の取得又は改良に充てるために保有する資金	▲	▲	▲
合理的に算出された必要限度額以内の特定費用準備資金	▲	▲	▲
拋出者の意思に従って、使用・保有されている財産	▲	▲	▲
遊休財産額	230,628	239,771	239,476

5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

（1）財務の健全性

指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度
経常損益		▲ 2,764 千円	▲ 784 千円	▲ 224 千円
自己資本比率	純資産	97.7 %	97.1 %	96.8 %
	純資産＋負債			
流動比率	流動資産	869.3 %	564.4 %	514.3 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	94.9 %	95.1 %	95.1 %
	固定負債＋純資産			
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金）	純資産 －資本金（基本金）	29,051 千円	38,194 千円	37,899 千円
公益目的事業比率	公益目的事業費	－ %	81.3 %	85.9 %
	公益・収益目的事業費＋管理費			
遊休財産水準	公益目的事業費	－	0.14	0.14
	遊休財産額			
資金運用	基本財産としての 有価証券の保有	● 有	<ul style="list-style-type: none"> ① 運用方針を明文化し、それに従って運用している。 ② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。 ③ 資金運用に関する情報収集に努めている。 ④ 元本割れのリスクはない。 	○
		無		○
				○
				○

（2）団体の自立性

指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	71.9 %	64.4 %	79.3 %
	経常収益＋経常外収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	市委託料			

（3）経営の効率性

指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度
職員1人当たり 売上高	事業収益	7,682 千円	7,896 千円	7,761 千円
	職員数			
職員1人当たり 経常利益	事業活動収支差額	▲ 553 千円	▲ 157 千円	▲ 45 千円
	職員数			
管理費比率	管理費	9.9 %	5.6 %	5.2 %
	経常費用			
職員1人当たり 管理費	管理費	941 千円	540 千円	470 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	40.0 %	36.3 %	43.9 %
	経常収益			
役員人件費比率	役員人件費	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
● 有	計画名称〔 會津八一記念館中期運営計画・原案策定中 〕 計画期間 平成 25～29
概要・数値目標	
現在計画策定中。普及活動としては①奈良および京都との歴史・文化・観光交流を拡大する②関西における定期交流の場＝「関西秋草会」（仮称）の設立③奈良県内の八一ゆかりの寺院長老との定期交流——など。また、当館の目標は年間入館者1万人、年間講演会数は12回以上、聴講者2000人以上を確保するなどの数値目標を掲げ、実現中。25年度も市内中学校、高校より関西修学旅行の事前学習のため講座依頼や寺院へのあっせん要請が舞い込んでおり、積極的に支援している。今後は中・高への修学旅行の内容充実に向けて県教育旅行協会（旅行社の上部団体）にも働きかけている。	
	未策定理由 〔 〕

② 経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任		専門家による会計指導	
● 有	就任時期 年度～ 依頼先職種〔 〕	● 有	依頼時期 平成18年度～ 依頼先職種〔 税理事務所 〕
● 無			無

③ 事務処理改善の取組み	
● 有	取組内容 24年度～ 〔 年間日程表を整備し、各種事業・イベントに対応した広報・会場・ホテル・交通チケットの事前確保・予約の段取りを忘れずに進めることを目指している。 〕
● 無	

④ 人材育成の取組み	
● 有	取組内容 平成17年度～ 〔 全国文学館協議会、北信越あるいは県博物館協会などの研修会に派遣。展覧会ごとに調査・出張を重ねており、作品知識や他館の活動などを研修している。また学術誌へ積極的な執筆を推進し、実行している。 〕
● 無	

⑤ 情報公開に関する規定の整備状況			
● 有	策定時期 平成12年度～ 規定名称 〔 公益財団法人會津八一記念館情報公開規定 〕	団体ホームページ掲載	● 定款等 21年度～
			● 事業内容 21年度～
			● 役員名簿 21年度～
			● 役員報酬 年度～
● 無	未整備理由 〔 役員は無報酬 〕		● 事業報告 21年度～
			● 正味財産増減計算書 21年度～
			● 貸借対照表 21年度～
			● 事業計画書 21年度～
		● 予算概要 21年度～	

6. 経営改善状況（個別の取組み）

（1）前年度までの評価における【今後の取組み】の改善状況

今後の取組み					
秋の特別展で過去2回開催し好評を博した「街の中の會津八一」を県外編として開催（10月5日～12月1日）。東京都内の菓子店・古書店・寺院等が所蔵する八一作品とその繋がりを紹介する。					
改善・対応区分		● 改善・対応済み	改善・対応中	検討中	実施しない
前年度の改善・対応内容		企業・商店などへ贈った初めて見る書作品を多く展示し、街の中に息づく八一の姿を改めて顕彰した。			
①	今後の改善・対応方針等	移転後の特別展は奈良をテーマに開催するが、過去10年間の奈良・京都との交流を当館の組織的交流として定着させるために、奈良・京都との定期交流化を実現し、県内外に會津八一記念館と奈良の絆の太さをPRする。具体的には奈良・京都で最低年1回、高僧たちと一堂に会した交流会を当館の主導で館員全員が参加した形で開催し、人的交流の永続性を図る。			
	実施事項	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	工程	交流会の定期化を打診し時期を内定	交流会の第1回開催		

今後の取組み					
法隆寺への歌碑建立および新潟・古町での會津八一碑（浅川園へ贈った平家物語の1節の碑）を建立を実現したい。					
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない
前年度の改善・対応内容		①法隆寺への歌碑（2基）建立のため、広く募金活動を行い、平成26年度に歌碑を建立する目途が立った。 ②浅川園の八一書碑はなお、新潟市と協議中。			
②	今後の改善・対応方針等	①11月7日、法隆寺に歌碑2基を建立予定。1基目は五重塔の近くに、2基目は斑鳩町の歌人原玉泉宅の歌碑「あめつちに…」を夢殿境内に移設し除幕式展を同時に催す。また今後は法隆寺歌碑の説明板を設置したい。 ②浅川園の歌碑は27年度中に、古町通もしくは旧記念館敷地内で実現したい。			
	実施事項	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	工程	法隆寺歌碑説明板製作・設置			
		浅川園書碑は設置場所の確定を進める	書碑移設除幕式		

今後の取組み					
會津八一の業績を顕彰し、紹介する事業（八一祭、館長講座など）の開催について、内容を精査・検討しながら引き続き行う。					
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない
前年度の改善・対応内容		メディアシップ移転後の記念特別展「會津八一の奈良」を、同フロアの文化の記憶館展示室を利用して開催することで調整。記念館収蔵の奈良関連作品を並べ、展示のボリュームアップと記憶館で同時期に開催される渡辺義雄の「大和古寺」写真展との相乗効果を図る。			
③	今後の改善・対応方針等	平成26年度は、西船見町での最後の企画展「ありがとう39年」と移転記念特別展「會津八一の奈良」など3企画を実施するが、文化の記憶館との相乗効果もあり、長年目標だった入館者1万人達成を目指す。また今後開催する會津八一記念館特別展は、できるだけ文化の記憶館の展示スペースを活用し、展示のボリュームアップするとともに、記憶館も會津記念館に連動した企画を行うなど、できるだけ相乗効果を図っていきたい。			
	実施事項	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	工程	八一祭、館長講座	八一祭は移転特別展と講演会を実施。講師は東大寺長老 森本公誠師		
	写真コンテスト	第8回を実施。1月31日に表彰式・講評会を行う	4月1日から第9回の募集を開始。		

(2) 前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

今後の取組み						
後継者の育成・増員を進める必要がある。						
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容		作品の借用交渉から集荷まですべて学芸員独力でできることが多くなった。				
今後の改善・対応方針等		全職員がイベントの企画から出演交渉や運営まですべての工程を担えるようにしたい。				
今後の改善・対応	実施事項		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	工程	移転	移転実務は担当者を決めてほとんどを任せた			
		竣工式・落慶法要	2日間の行事の工程表を学芸員が作り、ビル内の係員を主導し実行			

今後の取組み						
引き続き會津八一の業績を顕彰するため、各取組みについて、内容の検証と継続的展開が望まれる。						
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容		①写真コンテストは応募者が常連化しつつある②移転やその行事など多忙のため館長講演を減らした③展覧会の無料開放日を設けた。				
今後の改善・対応方針等		①写真コンテストの広報について再検討する②館長講演会を増やし、文化の記憶館と共催する③新潟市の11月3日だけでなく誕生日8月1日、命日の11月21日も無料開放を検討したい。				
今後の改善・対応	実施事項		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	工程		時期写真コンテストの募集要項を年度末までに作成する。配布方法に工夫	巡回展開催地を県内外で増やす		

今後の取組み						
中長期計画の策定にあたっては、市が策定した新潟市文化創造都市ビジョンの方向性に沿ったものとされたい。						
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容		原案の作成途上にある。				
今後の改善・対応方針等		原案における課題が1, 2年のうちに実現となるため、次々と書き直しが続いている。				
今後の改善・対応	実施事項		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	工程	①長期計画作成の意義	日常活動に埋没せず、長期展望に立った企画を立てようと工夫する			

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

財務の健全性	移転後は一時的に支出が増加し、26年度決算は支出膨張の懸念がある。しかしながら、移転特別展の入館料及び財団の新しいオリジナル商品の開発・販売により、収支バランスは均衡するはずである。會津八一作品の寄贈・寄託も増加しており、実質的な資産は増加しつつある。
団体の自立性	市からの指定管理料に大きく依存しているものの、グッズ販売、講演会などで独自財源づくりの自助努力も進めている。展示企画は館長と職員の協議で次々と実現している。また奈良や京都との文化交流は記念館の独自企画で推進しており、今後もこの方向で進めていく態勢である。作品購入も独自財源を持ち、理事会の最終判断で独自購入している。
経営の効率性・適正性	會津八一の知名度と業績そして神林恒道館長の幅広い人脈などで、他館では実現できないほど低い費用で著名講師を招き数々のイベントを実現している。さらに館長講演会は好評で、独自財源に貢献している。
その他	
総括的な所見	
移転先のメディアシップ5階には、にいがた文化の記憶館があり、また同職員は記念館職員と事務所内に同居しているが、職員同士の交流が活発で楽しく活気ある環境である。記念館が移転することへ反響は大きく、報道機関等からの質問や注文に対し、職員は次々と課題を克服してゆく多忙な日々を過ごしている。外部からの出前講座依頼も相変わらず続いており、この勢いをいかに持続するか。また奈良・京都との交流を発展させる企画を継続させることが、會津八一の普及に大きく貢献するものであり、今後の企画力、交渉力、推進力、仕上げ能力等が一層期待される。	

【所管課による評価】

現状に対する評価	個人などが所有している八一作品の寄託・寄贈の問い合わせが多くなってきているのは、これまでの地道な活動を通して友好な関係を築いてきた表れであり、結果として所蔵品数も増加している点は評価できる。
課題及び改善すべき事柄	本年8月1日に移転オープン（新潟日報メディアシップ5階）するが、収蔵庫などの設備面や公共交通の利便性が大きく改善される。この機会を好機ととらえ、八一の業績を顕彰する施設として、展示会など館の情報を積極的に発信することで知名度の向上を図るとともに、いかに入館者の増加に繋げていくかが今後の課題である。
今後の指導方針	これまでの活動を基に、市内だけでなく奈良・京都など奔放であった八一の魅力を様々な角度から紹介し、八一ファン獲得に努めていただきたい。

【今後の取組み】

①	当館の従来からの念願である「東アジア「書のシンポジウム」」を実現させ、新潟が「書の王国」であることを国内外にアピールすることで、良寛、巻菱湖、會津八一と続く文化都市であることをあらためて発信したい。
②	奈良・京都との定期交流第1回を京都で実施したい。その際に會津八一展も同時開催したい。
③	
④	

【総合評価】

概ね良好	改善の余地がある	改善が必要	抜本的な対応が必要
総括的な所見			
今後の取組みに対する評価, 改善指示事項			

【総合評価を受けての団体としての決意】

【総合評価における改善指示事項への対応方針】

改善指示事項					
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等				
	実施事項	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	工程				

改善指示事項					
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等				
	実施事項	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	工程				